



パブコサービスニュース

第17号

発行日 2015年 1月 7日

品質保証部 品質保証課

(ウィングパワーユニット作動不良時のチェックシートのご案内)

指定サービス工場各位

いつも弊社のアフターサービス推進にご協力を賜り誠にありがとうございます。

今般、ウィングのパワーユニット（コントローラー付[緩作動機能付]）に作動不具合が発生した際に、的確な修理作業を行えるよう、不具合症状を確認し、点検を進めていくチェックシートを作成いたしました。

つきましては、今後の修理時にご活用いただきたく、ご案内申し上げます。

また、併せてのお願いで大変恐縮ですが、今後の製品改良のため、当該チェックシートでの修理対応を実施された際には、弊社宛にチェックシートをFAX送信いただきたく、お願い申し上げます。 了

1. チェックシートの概要（詳細は添付チェックシートをご確認ください）

- ・不具合症状および確認・点検結果を□内にチェックを記入しながら進めることで、的確な修理対応が可能となる。

2. チェックシート使用方法

- ・チェックシート内の、□部にチェックを入れて進んでください。
- ・最終的にたどり着いた対応方法を、○で囲んでください。
- ・シート記載以外の対応方法の場合は、大変恐縮ですがその方法を余白に記載願います。

3. チェックシート返信のお願い

- ・大変恐縮ですが、チェックシートを使用した際には、弊品質保証課宛てチェックシートをFAX送信いただきたく、お願い申し上げます。

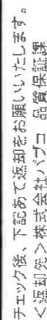
【チェックシート返信先・お問い合わせ先】

株式会社 パブコ 品質保証課

〒243-0402 神奈川県海老名市柏ヶ谷456番地

TEL046-235-8525 FAX046-235-7964

★ウイングダ作動不良時のチェックシート(コントローラー付用) rev.2.0



※1 応急処置の終、症状改番後、ユニット交授が必要です。

※2 応急処置のため、症状改善後マグネットSWの交換が必要です。※3 応急処置として取扱説明書のP5915「添付にしたがって電磁切り断ピン製作してください」

15. 緊急時の応急処置

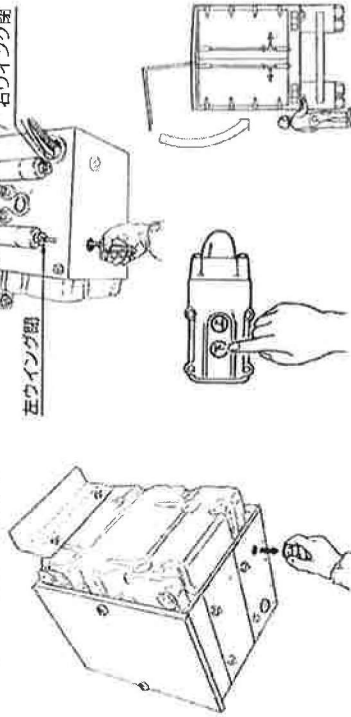
15.1 押しボタンを操作してもモータが回るだけで ウイングが動かない場合 (共通)

<緊急時対応◆印に該当したとき>

次の要領で応急処置をしてください。そして弊社または最寄りの販売代理店、指定サービス工場に搬入して修理をしてください。

●ウイングが上昇したまま下降しなくなった場合の応急処置

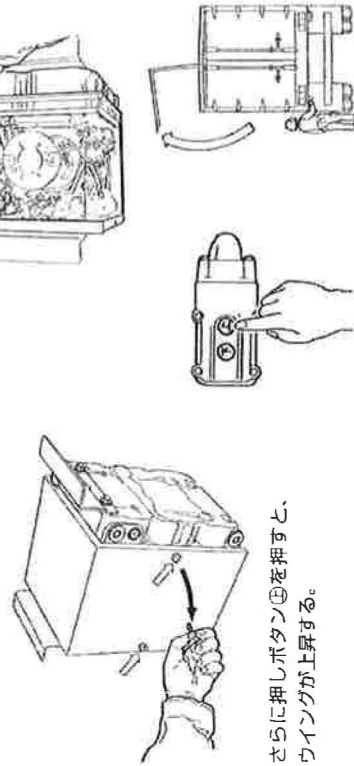
- (1) ユニット下面よりグロメットを外し、直径 3mm 位の丸棒またはプラスチックの先端で、矢印の箇所を強く押す。



- (2) さらに押しボタン⑤を押すと、ウイングが下降する。

●ウイングが下降したまま上昇しなくなった場合の応急処置

- (1) ユニット下面よりグロメットを外し、直径 3mm 位の丸棒またはプラスチックの先端で、矢印の箇所を強く押す。



- (2) さらに押しボタン⑥を押すと、ウイングが上昇する。

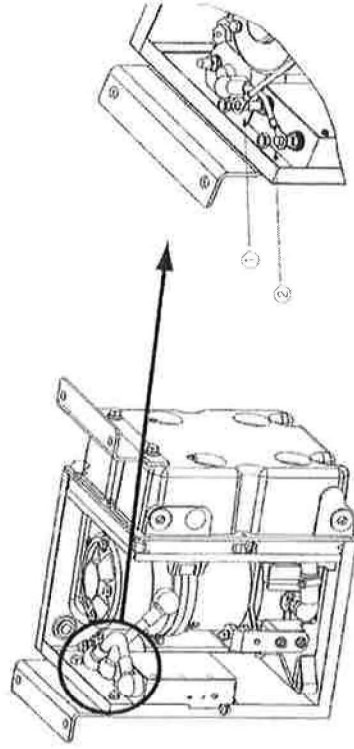
15.2 押しボタンを操作してもモータが回らない場合 (大型用コントローラ付き)

<緊急時対応★印に該当したとき>

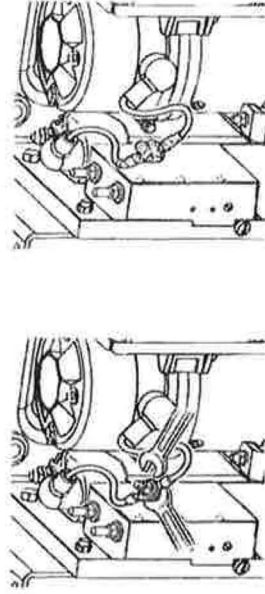
次の要領で応急処置をしてください。そして弊社または最寄りの販売代理店、指定サービス工場に搬入して修理をしてください。

用意する物: 13mm スパナ・トルクレンチ

- (1) ウイングメインスイッチを「OFF」にする。
- (2) 車両側のバッテリー(－)側端子を外す。
- (3) ①及び②の端子を外す。



- (4) ①及び②の端子を MB ボルトとナットにて接続する。
(このとき短絡防止のため、接続部をビニルテープにて絶縁処理してください。)



- (5) 車両側のバッテリー(－)側端子を接続する。

以上で緊急時対応は終了です。
この操作により、コントローラを介さずに作動させることができます。
この場合、特殊機能は一切動きませんので注意してください。
この緊急時対応処置でも作動しない場合は、その他の部位に不具合の原因があります。
P.56 ~「トラブルシューティング」を参照してください。

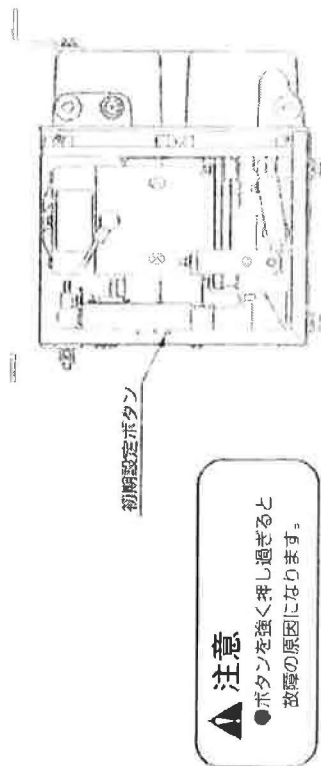
15.3 その他の症状の場合（大型用コントローラ付き）

<緊急時対応■印に該当したとき>

ウイングが途中で停止する、作動が遅い、緩作動しない等の作動不良が発生した場合およびパワーユニット本体またはコントローラを交換した場合には、次の要領で再度初期設定を実施してください。（車両出荷時には必ず実施しています）

用いる物：ボールペン等（先端の尖ったもの）

- (1) ウイングを左右とも全開にする。
- (2) ユニットのフタを外し、ボールペン等の先端で初期設定ボタンを押す。
 （このとき、LEDがP.55の「コントローラLED点滅条件の点滅パターン5」の状況に点滅します。）



- (3) 押しボタンスイッチの④でウイングを途中で停止させることなく全開させる。
 （このとき、モータが自動停止するまでスイッチは離さないでください。）
- (4) 押しボタンスイッチの⑤でウイングを途中で停止させることなく全開させる。
 （このとき、モータが自動停止するまでスイッチは離さないでください。）
- (5) 上記 (3) (4) の作業を左右とも実施する。
- (6) 上記 (5) の作業終了後、ウイングメインスイッチを「OFF」にする。
- (7) 再度ウイングメインスイッチを「ON」にし、ウイングを左右とも全開→全閉する。

以上で初期設定は終了です。
 この操作により、現在の車両状態に最適な動き方に再度初期設定されます。
 この操作でも作動不良の場合は、その他の部位に不具合の原因があります。
 P.56～「トラブルシューティング」を参照してください。